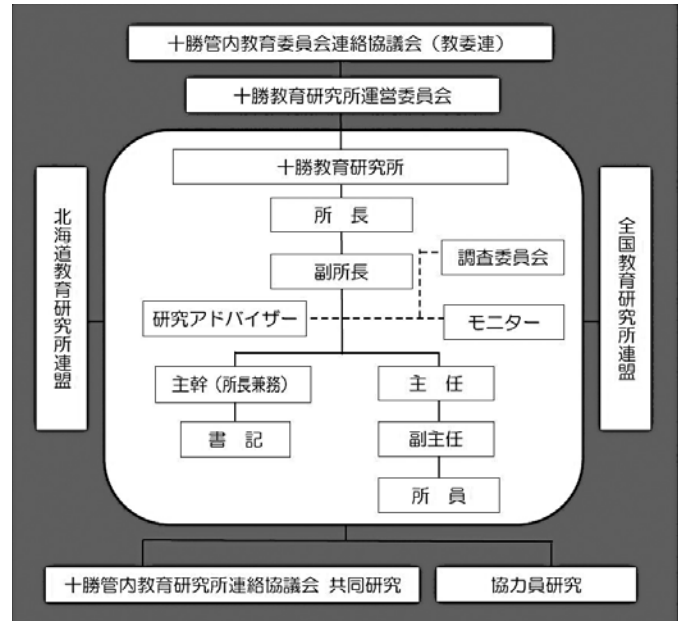


## 組織

### ◇運営の基本方針・機構図

十勝教育研究所は、十勝管内教育委員会連絡協議会によって設置されている公的な研究機関です。各市町村教育委員会、十勝教育局並びに教育関係機関、十勝教育研修センターとの密接な連携を図り、その中心的な業務である調査・研究、研修活動、資料提供等を通して、十勝管内の教育の充実、発展に尽くすことを基本方針としております。



### ◇令和6年度 十勝教育研究所 職員



佐藤 悠樹 所員 《共同研究》	【協力員研究】 初山 修斗 所員	山本 由佳 所員 《共同研究》	清水 悦子 書記
柴田 悠二 主任 《共同研究》	山田 洋 所長	横山 一仁 副所長	白澤 大輔 副主任 【協力員研究】

### ◇ご挨拶

お世話になりました

前主任 所員 松村 理史 (音更町立下音更小学校)

よろしく願いいたします

所員 佐藤 悠樹 (音更町立音更中学校)



### ◇研究機関としての研究

十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究（24 ページ参照）  
十勝教育研究所協力員研究（25 ページ参照）

### ◇講演会・研修会の開催

令和6年度十勝管内教育研究所所員研修会  
教育講演会（26 ページ参照）  
十勝教育研究所研究発表大会（27 ページ参照）

### ◇関係機関との連携

北海道教育研究所連盟第18次共同研究  
全国教育研究所連盟、北海道教育研究所連盟、道東地区・十勝管内教育研究所連絡協議会との連携

### ◇教育研究相談

校内共同研究の進め方や個人研究の相談など

### ◇資料の提供

#### 「研究資料・学習指導資料コーナー」

管内小・中学校の研究紀要、各研究所の小学校社会科副読本やキャリア・パスポートなどが閲覧できます。また、教育関係雑誌のバックナンバーも配架しています。

#### 「閲覧コーナー」

##### 【十勝教育研究所発刊物】

研究紀要

学習指導資料「十勝の子どもの学力」 広報誌「十勝教育研究」

##### 【教育関係雑誌】

『初等教育資料』

『中等教育資料』

『指導と評価』

『道徳と特別活動』

『授業力&学級経営力』

#### 「教科書コーナー」

図書室内には小・中・高等学校の各教科の教科書を全出版社分取りそろえておりますので、内容を比べることもできます。



## ◇ 広報誌「十勝教育研究」

広報誌「十勝教育研究」は、教育の今日的諸課題に関する研究や、実践などの発表・交流の場です。発刊は年3回を予定しております。また、今年度より11月号はホームページでの提供となります。

より多くの皆様にご愛読いただけるよう、レイアウトを工夫しながら編集しています。

ご覧いただいた方々が「読んでよかった」と感じられるよう、今年度も分かりやすく充実した内容となるように心掛け、丁寧な編集に努めてまいります。

### －学校めぐり－

全ての号で掲載します。その学校の特色ある取組について、具体的な子どもの姿を交えながら、写真とともに掲載します。毎号裏表紙に掲載しますので、手に取った際に気軽に読むことができます。

### －特集－

11月号と3月号に掲載します。話題となっているキーワード、現場で求められている指導方法などを分かりやすく解説します。また特集に関わる十勝管内の実践も紹介します。

### －紹介・挨拶－

6月号では、採用校長・昇任教頭・新採用教職員の皆様からのご挨拶を紹介いたします。3月号では、定年退職を迎える皆様からのご挨拶、今年度で閉校となる学校を紹介いたします。

### －教育情報－

十勝教育研究所で進める「共同研究」「協力員研究」や、各種研究大会・発表大会、「数字で見る十勝の教育」など、当研究所の取組や、十勝管内の教育情報を中心に紹介します。

### －わたしの学級経営－

全ての号で掲載します。「学級づくりで大切にしていること」「楽しい学級づくりのための教室環境づくり」「学級通信の書き方」など、学級経営を支える具体的な実践を紹介いたします。

### －わたしの授業実践－

全ての号で掲載します。「教科指導のポイント」「新しく加わった内容の指導法」「ICTの活用」など、授業を行う上で大切にしたいことなどについて、具体的な実践を紹介いたします。

### －共に学び共に育つ－

年2回の掲載です。特別支援教育の視点に立った実践や、教材教具について掲載します。特別支援担当の先生だけではなく、広い視点で実践を紹介していただきます。

### －健やかな心と体－

年2回の掲載です。子どもたちが学びに向かう土台は「心」と「体」の健康です。養護教諭・栄養教諭の皆様が子どもたちへの関わり方や、学校全体での取組を紹介していただきます。

### －日々徒然－

全ての号で、お二方紹介いたします。日々の子どもの関わりやプライベートなどで感じた思いなどについて、様々な立場から徒然なるままに執筆していただきます。

## ◇ 学習指導資料「十勝の子どもの学力」

標準学力調査による十勝の子どもの学習状況や、各教科の指導の改善について掲載しています。今年度は小学校3学年・5学年、中学校1学年を調査の対象としました。また、小学校3学年～中学校2学年までの学力の概観も掲載しておりますので、合わせてご覧ください。

学習指導の改善・充実のための基礎的な資料としてご活用ください。実践事例は、HPでも公開しています。



【十勝の子どもの学力】

## ◇ 研究紀要 No.219

十勝教育研究所では、毎年、研究紀要を発行し、「共同研究」及び「協力員研究」の内容や、その成果と課題を管内の先生方にお知らせしています。

なお、研究発表大会前に配布しておりました、ダイジェスト版は昨年度より廃止しております。

研究発表大会にご参加いただく方につきましては、当研究所HP掲載の資料をご用意していただく予定です。



【研究紀要】



# 十勝教育研究所

## HP リニューアルへ

十勝教育研究所では、Web での情報発信も行っています。

旧十勝教育研究所ホームページ <http://www.tokyoken.net/>



新ホームページへの移行期間として、1年間は旧ホームページも閲覧可能になります。過去の刊行物や情報等をお探しの場合は旧ホームページをご覧ください。旧ホームページへは、こちらのQRコードを読み込んでください。



十勝教育研究所

十勝教育研究所について 研究 ご案内 刊行物 情報提供のページ 十勝応援サイト よくある質問 お問い合わせフォーム

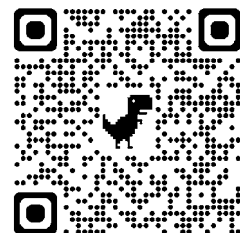


新十勝教育研究所ホームページ <http://tokachi-edlab.jp/>



デザインも新たに、より利用者目線でUIにもこだわりました!

今年度より、ホームページをリニューアルいたします。引き続き、「共同研究」「協力員研究」に関わる資料を見ることができます。また、広報誌「十勝教育研究」11月号はホームページでデジタル版として発行し、記事を随時更新していく予定です。ぜひ、研究や実践にご活用ください。



## 考えを広げ深める対話の工夫 学びをつなげる振り返り

### 〈研究主題〉

### 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育む研究

～考えを広げ深める対話の工夫と、学びをつなげる振り返りを通して～

(2か年継続研究 2年次)

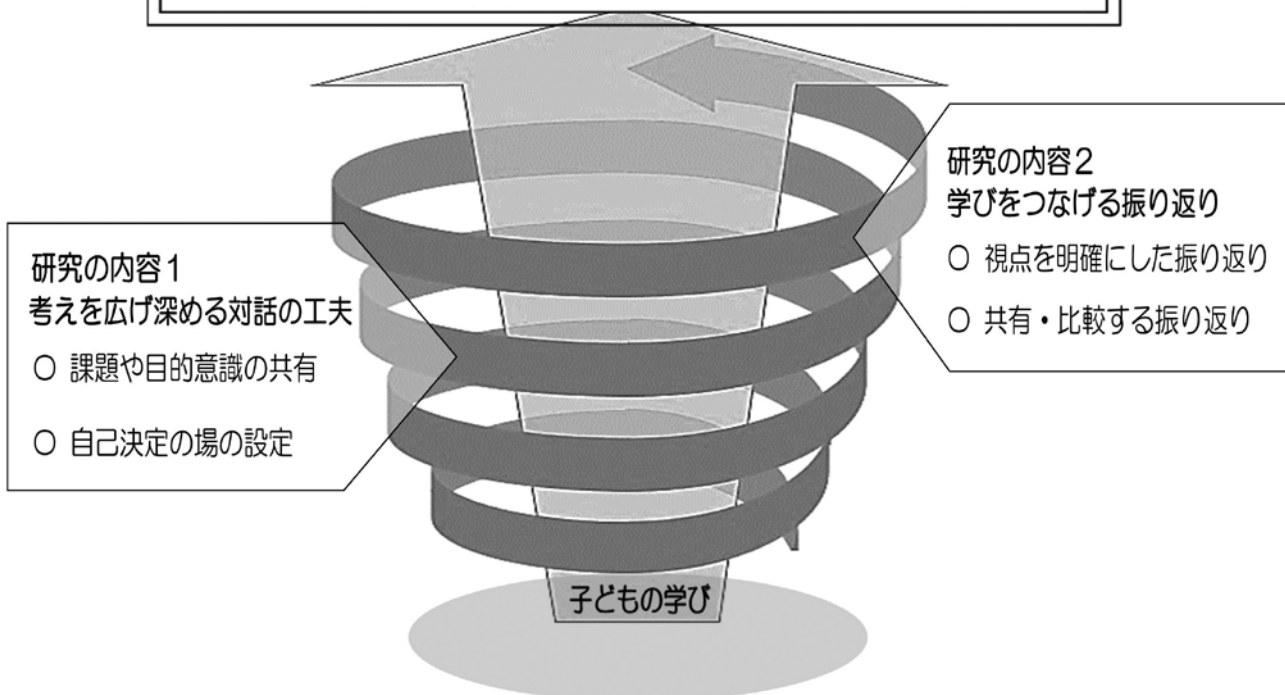
研究1年次では、対話と振り返りに焦点を当てて研究を推進しました。その成果と課題から、子ども同士、子どもと教師が課題や目的意識を共有し、自己決定をしながら主体的に取り組む対話が必要であると考えました。また、視点を明確にした振り返りを積み重ね、学習を通して生まれた新たな気付きや課題を共有・比較することで、子どもが自己調整をしながら学びを次へつなげていくことができるのではないかと考えました。現在、1人1台端末の活用によってお互いの考えをリアルタイムで共有したり、変容を見返したりすることが容易となり、様々な学びの工夫が可能となっています。

これらのことから、研究2年次は対話と振り返りの更なる充実に視点を当てた授業づくりの研究を進めます。

#### 研究の仮説

協働的な学びにおいて、子どもが課題や目的意識をもち主体的に対話に取り組み、単元を通して振り返りを積み重ね、学びを共有・比較して次につなげることによって、自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むことができるだろう。

### 自分の考えを表現し合い、学びを深める子ども



管内19市町村の教育研究所と十勝教育研究所が一体となって、授業実践を通じた研究を進めます。

# 協力員 研究

## Keyword

日常モラルを生かした学習内容の工夫  
一人一人が意思決定する学習展開の工夫

### 〈研究主題〉

#### 他者を尊重し、責任をもって行動する子どもを育む研究

～日常モラルを生かした学習内容と一人一人が意思決定する学習展開の工夫を通して～  
(2 年継続研究 1 年次)

学習指導要領において、「情報活用能力（情報モラルを含む）」が学習の基盤となる資質・能力の1つに位置付けられています。また、十勝管内の教職員へ行った「デジタル機器やICTの活用について」のアンケート結果から見ると、デジタル機器の活用で必要だと思う能力として、リテラシーに関する項目のほか、ルールやマナーを守る力といったモラルに関する項目のポイントも高く、課題があると考えられます。そこで、特別活動において、日常モラルを生かした学習内容と一人一人が意思決定する学習展開の工夫の研究を進めることで、「他者を尊重し、責任をもって行動する子ども」を育む研究を進めます。

#### 研究の仮説

特別活動において、子どもの日常から自分事として考えることができる情報活用に関する学習内容と行動の選択肢の議論から自己の前向きな行動を追求する学習展開の工夫を通して、他者を尊重し、責任をもって行動する子どもが育まれるであろう。

### 他者を尊重し、責任をもって行動する子ども

#### 研究内容 1

##### 日常モラルを生かした 学習内容の工夫

- ① 事前アンケートの活用
- ② 情報技術の仕組みの理解

情報活用能力  
(情報モラルを含む。)

#### 研究内容 2

##### 一人一人が意思決定する 学習展開の工夫

- ① 行動の選択肢の議論
- ② 前向きな対処法の追求

管内の小・中学校各1校の協力を得て、協力員を委嘱し、授業実践を通じた研究を進めます。

令和6年度  
教育講演会

ICTを生かした

複線型で協働的な学び

講師：東京学芸大学教育学部 教授

高橋 純 氏

11.13 (水)

15:00~16:30

(接続開始14:50~)



WEB

ZOOMによる  
オンライン開催

お申込み

後日ご案内

参加費

無料

※「教育講演会」は十勝管内の教職員や教育関係者を対象とした講演会です。

お問い合わせ

主催 十勝教育研究所

〒089-0531

幕別町札内暁町290-2

TEL 0155-56-2331

E-mail [staff@tokyoken.net](mailto:staff@tokyoken.net)



【十勝教育研究所HP】



7/29・7/31  
(月)・(水)

## 十勝教育研修センター 授業づくり講座

新

会場：十勝教育研修センター

7/29(月) 講座番号 42：授業づくりⅡ  
(道徳的行為に関する体験的な学習)

7/31(水) 講座番号 41：授業づくりⅠ  
(「対話」の工夫と「振り返り」の充実)

授業づくりⅠでは各教科を対象とした「共同研究」、授業づくりⅡでは道徳科を対象とした「協力員研究」それぞれの研究内容を通して、授業づくりについて学ぶことができる講座です。どちらも、昨年度から新設した講座です。

## 道東地区教育研究所所員研修会

8/27・8/28  
(火)・(水)

会場：釧路市生涯学習センター

8/29・8/30  
(木)・(金)

## 北海道教育研究所連盟研究発表大会(網走大会)

会場：オホーツク・文化交流センター

## 十勝教育研究所研究発表大会

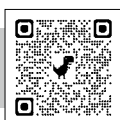
2/6  
(木)

会場：十勝教育研修センター

Web 会議システム Zoom によるオンライン開催予定

○共同研究：自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育む研究  
～考えを広げ深める対話の工夫と、学びをつなげる振り返りを通して～

○協力員研究：他者を尊重し、責任をもって行動する子どもを育む研究  
～日常モラルを生かした学習内容と一人一人が意思決定する学習展開の工夫を通して～



研修会・講習会の詳細につきましては、ホームページでお知らせします。